

さくらんぼ

手のひらにさくらんぼが、つややかに載り
薄い陽光にオレンジ色を加えては
女学生たちの指に運ばれてゆく

単純でしかも豊穡な朝の気は
薄い眠りのヴェールをかぶり
ゆっくりと今日を手繰り寄せる

(幾重にも幾重にも
僕の想いは折りたたまれている
うたわれる予感とともに)

さくらんぼはまだ残っているけど
それはきっと昼食のデザートでしょうね

(そちらにはもう届きましたか
そのときは思い出してください
それが木に実っている姿を)

(2000. 7.5)